

No.	部長目標宣言		課名	課長目標宣言	成果指標			事務事業名	
					指標名	現状値	目標値		年度末実績
①	第3次総合計画に掲げる4つの戦略をシンカさせるため、令和7年度の重点施策を着実且つ効果的に推進します。 ※4つの戦略 定住人口戦略 活動人口戦略 交流・応援(燕)人口戦略 人口戦略を支える都市環境の整備		企画財政課	令和7年度の各施策が効果的に展開できるよう、協働型予算編成を通じた進捗管理を行います。	令和7年度部長目標宣言シートにおける各課の活動指標の達成率	72.09% (R6実績)	75.00%以上	67.71%	PDCAサイクルによる事務事業の進捗管理と状況変化に応じた補正予算の編成
	中間評価	○							
	最終評価	3							
②	持続可能な行財政運営をシンカさせるため、「第3次燕市行政改革推進プラン」に掲げる3つの力の向上を図ります。 ※3つの力 「財政力の向上」 「行政力の向上」 「職員力の向上」		企画財政課	財政力、行政力、職員力の向上を図るとともに、各種取組が歳出削減などの成果につながるよう、協働型予算編成を通じた進捗管理を行います。	行革プラン実施計画の実績評価が「◎:100%以上達成」または「○90%~100%未満」の項目の割合	96.66% (R6実績)	同水準維持	87.09%	PDCAサイクルによる事務事業の進捗管理
	中間評価	○							
	最終評価	3							
③	総合計画に掲げる戦略と持続可能な行財政運営の進化を両立させた令和8年度当初予算を編成します。		企画財政課	令和8年度当初予算を編成するため、協働型予算編成を通じた事業見直しと重点事業への予算配分を行います。	将来負担比率	86.5 (R5実績)	同水準維持	68.7 (R6実績)	協働型予算編成による令和8年度当初予算の編成
	中間評価	○							
	最終評価	4							
					基金額比率	61.8% (R5実績)	50.0%以上(R5)	64.2% (R6実績)	PDCAサイクルによる既存事業の効果検証
									債券による基金の運用
					財政調整基金残高	38億6,681万円	同水準維持	49億673万円	財政状況の公表

No.	部長目標宣言		課名	課長目標宣言	成果指標				事務事業名
					指標名	現状値	目標値	年度末実績	
④	定住人口戦略を進化させるため、若者や子育て世代のニーズを捉えた移住・定住支援策を充実させるとともに、未婚化・晩婚化の解消に向け結婚希望者の支援を強化します。		地域振興課	移住定住を促進するため、新たに「移住マッチングサイト」での情報発信に取り組むことで、移住フェアでの相談や移住ツアーへの参加に繋がります。	移住支援制度を活用した市外からの移住者数【累計：H27年度～】 【交付決定年度ベース】	2,192人 (R6:345人)	2,521人 (R7:340人)	2,427人	つばめ移住・定住促進事業
			地域振興課	若者の将来的なUターンを促進するため、「つばめいと」メンバーへの情報発信とUターン支援に取り組めます。	つばめいと登録者数	785人	同水準維持	784人	ふるさと燕若者応援事業
			地域振興課	官民連携による男女の出会いイベントを開催するとともに、県と連携しながら結婚相談会を実施します。また、結婚支援ボランティアの育成や、高校生を対象としたライフデザインセミナーを開催します。	本市主催の婚活イベントによる成婚数【累計：H27～】	14組	16組	15組	男女の出会いサポート事業
	中間評価	○	最終評価	3					
⑤	活動人口戦略を進化させるため、誰もが生き生きと活動できる職場環境の整備や若者活動の活性化、多文化共生社会の推進などに取り組めます。		地域振興課	男性の育児休業取得促進と短期取得傾向の改善を図るため、引き続き社会保険労務士による事業所訪問を実施します。また、従来の女性表彰に「共育で」の視点を加え、身近なロールモデルとなるエピソードを募集・横展開する「つば×ともモデルエピソードアワード」を新たに実施し、「共育で」の機運を醸成していきます。	男性の育児休業取得率	59.3% (R6調査)	63.0%	77.9% (R7調査)	つばめ子育て応援企業サポート事業 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業
			地域振興課	「燕市役所まちあそび部」では新たに燕駅での情報発信に取り組み、活動の周知や新メンバー加入に繋がります。また、引き続き他自治体の高校生との交流を深めることで活動を活性化させます。「燕ジョイ活動部」では、引き続き新潟大学や新潟経営大学と協働で事業を実施します。	つばめ若者会議メンバー数	92人	100人	113人	つばめ若者会議事業
			地域振興課	外国人と市民の互いの文化の理解を深めるため、多文化交流会や地域と外国人の交流会を開催します。また、姉妹都市との交流を活性化していくため、シエボイガン市に職員を派遣します。	多文化交流会および地域と外国人の交流会の年間参加者数	164人 (R6実績)	120人	837人	多文化共生事業
	中間評価	○	最終評価	5					
⑥	交流・応援(燕)人口戦略を進化させるため、プロスポーツチームとの「つながり」を活かし、燕ファン拡大を図ります。		地域振興課	東京ヤクルトスワローズやアルビレックス新潟、オイシックス新潟アルビレックスBCとの事業を通じて「燕市のファン」づくりと、来燕機会につながる情報発信に取り組めます。また、地域おこし協力隊による「まちトーフ」を拠点とした応援(燕)人口創出活動に取り組めます。	つばめ会会員数	1179人	1250人	1294人	応援(燕)人口拡大・創出事業
	中間評価	◎	最終評価	5					